



## ▶ 現在の工事状況

工場棟の鉄骨工事は令和2年12月時点で9割以上が完了し、建物の形状が外観上ははっきりとわかるようになりました。3階可燃ごみプラットホームから下の西側ランプウェイもコンクリート打設が完了しました。

施設の主要機械（プラント機械）については、C工区にボイラー鉄骨が設置され、下部に位置する機械から順に据え付けが進んでいます。現在、施設1階の灰出設備及びストーカ本体の据え付けが完了しています。



C工区からみた  
ごみ投入ホップの穴



C工区ボイラー鉄骨

C工区1階  
灰出設備室



西側ランプ  
ウェイ工事の  
施工の様子



煙突(1号内筒)  
の先端



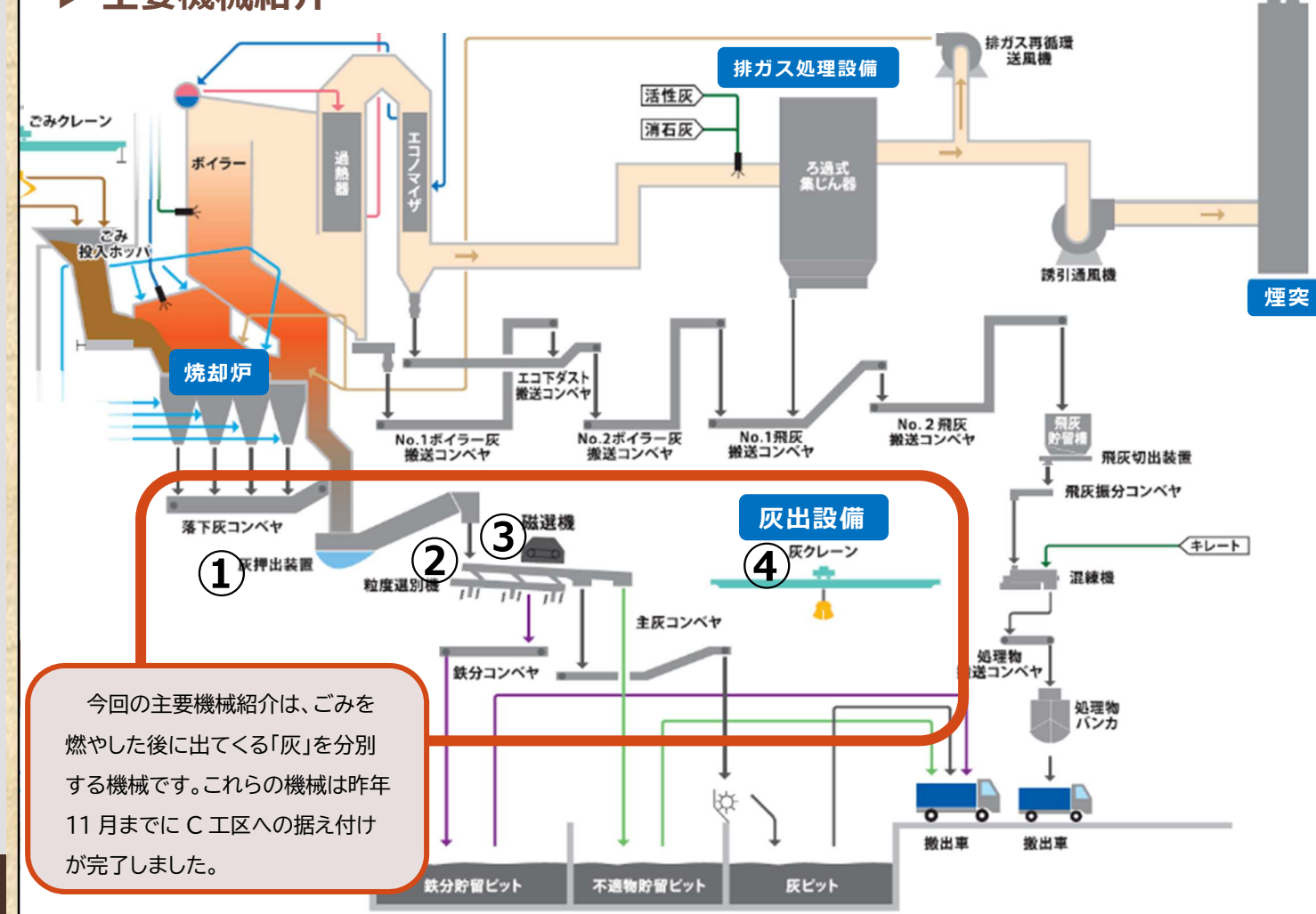
また、煙突等の排ガス処理設備についても据え付けが進んでいます。先日、煙突の溶接確認検査の際、煙突の先端まで登り、確認作業を行いました。地上59mの煙突の上は足がすくむ光景でした。

今月からは飛灰（ボイラー出口付近で出るばいじん）関連の設備や、ボイラー本体の据え付けが始まります。

そして、12月から工場棟と連絡通路でつながる管理棟の掘削工事を開始しており、現在は管理棟の基礎工事を進めています。

## ▶ 主要機械紹介

(ごみ焼却のフロー図)



今回の主要機械紹介は、ごみを燃やした後に出てくる「灰」を分別する機械です。これらの機械は昨年11月までにC工区への据え付けが完了しました。

## ▶ 工場検査ピックアップ 主要機械を制作する工場での検査の様子です

### R2.10.26 脱気器

材料・耐圧・外観検査 兵庫県高砂市



ボイラー等の腐食の原因となる、水中の溶存酸素を取り除くのが、ロケットのような形をした「脱気器(だっきき)」です。

10月の工場検査では、溶接部の検査等、主に外観に不備がないかを検査しました。



現場受入時

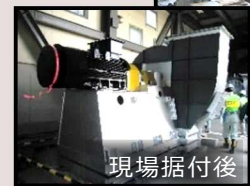


現場据付後

### R2.11.6 誘引通風機 性能・外観検査 兵庫県姫路市

焼却炉からの排ガスを煙突へ引き込む、巨大な掃除機のような性能をもつのが「誘引通風機(ゆういんつうふうき)」です。性能検査では、検査用の筒をつけて能力をチェックしました。

右写真奥から手前に空気を引き込み、機械上部に開いた口から上へ空気が移動します。



現場据付後

### R2.12.1 ストーカ 外観・員数検査 愛知県名古屋市港区



「ストーカ」とは、焼却炉の底で、ごみを攪拌しながら炉の先へ送る階段状の装置です。

海外で作られ、日本へ運ばれてきた装置が港区の倉庫に一時保管されており、装置が設計図通りに作られているかを検査しました。



ストーカ上部

### ① 【灰押出装置(はい-おしだし-そうち)】



炉内で発生した灰を、装置内に溜めた水で消火しながら、内部の押し出し板で下流の灰コンベヤへと送る装置です。写真は灰出設備室に据え付けた後の様子です。

### ② 【粒度選別機(りゅうど-せんべつ-き)】



灰押出装置から来た灰を振動させながら下流へと灰を送る装置です。粒度選別機のコンベヤ中央部には磁選機が設置されています。ふるいの最後に残った燃え残りは不適物貯留ビットへ送られます。

### ③ 【磁選機(じせん-き)】



粒度選別機のコンベヤ中央部にあり、流れてきた灰の中の鉄分を磁力で吸着し、鉄分コンベヤへより分けます。強力な電磁石を内蔵しているため、精密機器を近づけると壊れるので注意が必要です。

### ④ 【灰クレーン(はい-くれ-ん)】(本体)



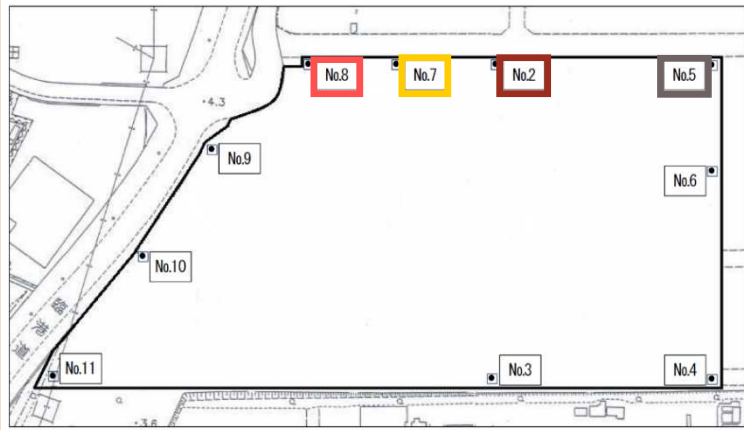
粒度選別機と磁選機でより分けられた灰や鉄分は灰ビットに送られ、灰クレーンで搬出車へと積み込みを行います。写真はクレーンの本体で、バケット(つかむ部分)は後日受け入れ予定です。

## ▶ 地下水モニタリング

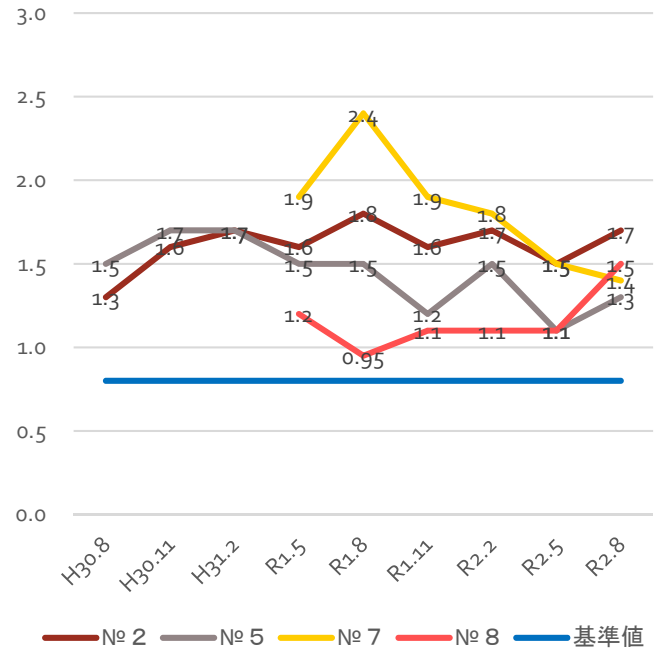
(令和2年8月採水)

地下水モニタリングについては、平成31年3月公表の土壤汚染等調査結果に基づき、愛知県の指導のもと令和元年5月分から分析物質及び観測井戸を追加し実施しています。

観測井戸位置図



ふっ素及びその化合物(mg/L)の推移



### ① 重金属等

調査の結果は右表のとおりです。これまで同様、No.2,5,7,8の4つの観測井戸において、ふっ素及びその化合物の環境基準超過がありました。濃度の推移は右上のグラフのとおりです。

また、今回 No.8 の観測井戸において、砒素及びその化合物の環境基準超過がありました。建設地周辺に飲用井戸はなく、実質的な健康被害は発生しないと判断しております。

今後も数値に大きな変動はないか定期的に調査してまいります。

重金属等モニタリング結果 (令和2年8月採水結果報告書より)

観測井戸(井戸No.)		No.2	No.5	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	地下水環境基準(mg/L)
地下水位	GL-m	2.07	2.19	1.62	1.65	1.38	1.06	0.93	
	T.P.m	1.82	1.46	1.95	2.02	2.33	2.69	2.72	
分析項目	ふっ素 (mg/L)	1.7	1.3	1.4	1.5	0.25	0.39	-	0.8
	鉛 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
	砒素 (mg/L)	<0.005	0.009	<0.005	0.011	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
	六価クロム (mg/L)	<0.01	<0.01	-	-	-	-	-	0.05
備考	採水日	8/3	8/3	8/3	8/3	8/4	8/4	8/3	

赤字は基準値超過したことを示す 「-」は測定対象外項目

### ② ダイオキシン類

調査の結果、以下のとおり環境基準超過はありませんでした。(単位: pg-TEQ/L)

No.2...0.082, No.3...0.029, No.4...0.100, No.5...0.079, No.6...0.110 (環境基準...1)

※過去の推移については組合ホームページをご確認ください。

## ① 愛称募集にご協力ありがとうございました

昨年10月~11月にかけて募集させていただいた、知多南部広域環境センターの愛称については、おかげさまで111通ものご応募をいただきました。小学生からご高齢の方まで幅広いご意見をいただき、関係者一同お礼申し上げます。愛称の発表は今年3月を予定しておりますので、ホームページを是非チェックしてみてください。



発行：知多南部広域環境組合 所在地：知多郡武豊町字長尾山2番地 電話：0569-84-1007 FAX：0569-84-1008

メールアドレス：nanbukouiki@etude.ocn.ne.jp ホームページ：http://www.chitananbukouiki.server-shared.com/